課題番号：処-103

課題名	**廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」** **検討対象「キャラクタリゼーション②」** **課題「計量管理」**	**時間軸情報**	汚染水対策		
			使用済燃料プールからの燃料取り出し		
			燃料デブリ取り出し		
			PCV/RPV/建屋の解体		
			輸送・保管・貯蔵		
段階	Preparation		処理・処分・環境回復	1	

		ニーズ	**望ましい状態とその理由**	**（参考）関連する研究課題**
1	合理的な燃料デブリや核燃料物質の計量管理方策を立てたい。		●汚染水の水処理二次廃棄物は、これまでに処理実績の少ないものであり、処理・処分を見据えて、その性状や発生量、汚染核種の種類、化学形、量が把握されることが望ましい。 ●この際、湿分を含み屋外に通気状態で保管されている水処理二次廃棄物は、カビや苔等が繁殖し、分析や以降の固化処理が困難となる可能性にも留意が必要である。そのため、高線量下での微生物等による影響評価と必要に応じて対策技術も望まれる。 ●また、処理・処分側から、燃料デブリ取り出し側に要件や要求事項、留意事項が示されることが望まれる。 ●さらに、コスト低減の観点からは、処理実績があり（水処理二次廃棄物の性状把握が容易な／処理が容易な）、かつ安価な水処理技術が望まれる。	**【実施されている研究課題】** 特になし **【検討されている研究課題】** 課題リスト「合理的な核物質管理方策の検討」 課題リスト「保障措置方策の検討」
関連する課題			SFP-301「がれき等撤去／SF取り出し」 デブリ-201「燃料デブリと放射性廃棄物の仕分け」 解体-301「炉内構造物の撤去」 処-205「廃棄体確認、分析方法」 共-3「測定・分析技術」	